

輻射物理学講座百周年記念 光物性シンポジウム

現代物理学の分野に「光物性物理学」があります。これは、原子や分子の分光学にその起源をたどることができ、20世紀の量子力学及びそのあとの固体物理学の発展に大いに寄与してきました。京都大学物理教室では分光学の研究に早くから取り組み、大正5(1916)年9月に輻射学・放射学講座が発足後、大正5(1916)年12月に高嶺俊夫が助教授として着任(高嶺はそのあと理化学研究所に移籍)、大正6(1917)年6月に木村正路が教授に就任して、研究活動をスタートさせております。この講座からは、数多くの卒業生が様々な大学の物理学教室に教授として赴任し、この分野の日本における重要な人材育成拠点として機能してきました。この度、講座発足百周年を迎えるにあたって、分光学から光物性物理学に至る歴史を鑑み、未来の「光物性物理学」を俯瞰するために、記念シンポジウムを開催することになりました。シンポジウムは3部からなっており、午前の1部は若手による最先端の研究発表、午後前半の2部はチュートリアル的な分野俯瞰、午後の後半は百周年を祝う記念式典、という構成になっております。この分野に関心がある多くの方のご参加をお待ちしております。

京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻 教授 田中耕一郎

分光学から光物性物理学へ、そして新たな学問の創成

— 輻射物理学講座百周年の礎に立って —

日時 平成28年11月26日(土)

場所 京都大学 益川ホール(北部総合教育研究棟)

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/campus/facilities/kyoshokuin/hokubu>

9:30 光科学の最先端

座長：田中耕一郎

- | | | |
|-------------------|-------|-------------|
| 1. はじめに | 田中耕一郎 | 9:30-9:35 |
| 2. レーザー加工(仮題) | 谷 峻太郎 | 9:35-10:00 |
| 3. 光マニピュレーション(仮題) | 蓑輪陽介 | 10:00-10:25 |
| 4. 太陽電池(仮題) | 山田泰裕 | 10:25-10:50 |
| 5. テラヘルツ技術(仮題) | 廣理英基 | 10:50-11:15 |

11:15

昼食 ポスター発表：中 暢子、有川 敬

- 12:30 光科学の現状と将来 座長：中 暢子
1. 光電子分光 (仮題) 東 純平 12:30-13:00
 2. 超高速分光 (仮題) 片山郁文 13:30-14:00
 3. 量子情報 (仮題) 小坂英男 14:00-14:30

14:00

休憩

- 14:20 100周年記念式典 座長：芦田昌明
1. 主催者挨拶 14:20-14:25
田中耕一郎
 2. 来賓挨拶 14:25-14:40
北野正雄 (京都大学副学長)
森脇 淳 (京都大学大学院理学研究科長)
谷森 達 (京都大学大学院理学研究科・物理学・宇宙物理学専攻長)
 3. 記念講演 加藤利三 14:40-15:25
光物性物理学の誕生 (仮題)
 4. 記念講演 腰原伸也 15:25-16:10
光誘起相転移と光物性の未来 (仮題)
 5. 講演 田中耕一郎 16:10-16:40
京大における光物性研究と未来 (仮題)

16:40 終了 同窓会会場へ移動